

社会民主主義 フォーラム

全国 通信

No.27

2022 年
5 月 19 日

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-6-9

DIK 麹町ビル 704 号室

TEL : 03-6272-8135

FAX : 03-6272-8136

Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

いのちと暮らしを守る 「生活安全保障」掲げ、参議院選挙勝利へ

社会民主主義フォーラムは4月27日、参議院議員会館において「参議院選挙をどうたたかうか」をテーマに、西村ちなみ立憲民主党幹事長を講師に招き政治セミナーを開催しました（写真）。セミナーにはオンライン参加を含めて70名が参加しました。参院選挙告示まで一か月余りとなりました。危険な改憲をストップさせ政権交代への足掛かりを築くため参議院選挙勝利に全力をあげましょう。

参院選はおかしな自民党政治にカツを入れ、国民に目を向けた政治への転換をめざすこと。維新は自民党の別動隊で国民民主党は本予算に賛成など、まっとうな野党の数が少ない。私たちには厳しく政府を追及することが求められたが、前半の国会ではそうした姿勢が必要ではなかったかという思いがある。

石川での補欠選挙では、当初「不戦敗」という議論もあった。国会議員1人、自治体議員は9人しかいない。保守が強くリスクは分かっていたがたたかうこととした。敗北したが総選挙の得票より1万数千票増えた。足腰となる組織が弱く、政策、広報が現場まかせで効果的に打ち出せなかったこと、国会でのたたかう姿を見せることができなかったなどの敗因がある。

物価高やガソリン値上げ、高止まりなどはアベノミクスの失敗が原因だが、私たちがきちんとした対応ができていたか。ミャンマー国軍の兵士を防衛大に留学生として受け入れていることへの追及など、党の国会議員はいい質問をしている。しかしなかなかこういう姿を国民に届けられていない。

「新しい資本主義」が打ち出された。少しは「期待」があった。安倍、菅政権では拡大する貧困・格差に、新自由主義の問題が背景にあったことを1ミリも認めなかったが、岸田首相は認め、賃上げを打ち出した。しかし保育、介護に携わる人たちの人件費は他の業種より7万～8万の開きがあるのに、出てきたのは4000円にすぎない。「ケア」の法案を提出し、今後もっと賃上



げが必要なことを訴えていきたい。

「生活安全保障」は、今回の参院選のキーワードとなる。「国民生活の安全を保障する」ということ。具体的には消費税を時限的に5%に、最低賃金を段階的に1500円へ、物価に負けない年金制度へ、賃貸の方に月1万円の家賃保証を行う、小中学校の給食費の無償化などを掲げた。補正予算も17兆円の規模といわれているが「真水」は2.7兆円。まさに財政の私物化だ。

ウクライナに関して、自民党から勇ましい話が出てきている。もっと対話外交を重視しなければならない。防衛費のGDP比2%が叫ばれているが、数字ありきではなく必要なものを積み上げていくという考え方でなければならない。「それ行けどんどん」という感じになっており問題だ。参院選は「命と暮らしを守る」ということを念頭にしっかり取り組んでいく。

2022参議院選挙 第2回政治セミナーのご案内

テーマ	参議院選挙の主要な政策課題	講師	小川淳也 立憲民主党・政務調査会長
日時	5月31日（火）18時～	会場	参議院議員会館 地下1階 B104会議室
※参院選挙への決意 松尾あきひろさん（東京選挙区予定候補）ズーム参加します			

2022憲法大集会に15000人

憲法改悪に反対 参院選予定候補者先頭にアピール



日本国憲法施行から75年を迎えた憲法記念日の5月3日、「2022憲法大集会」が東京都江東区有明防災公園で開かれ、1万5000人が参加し、集会では、参加者たちが「#憲法改悪に反対します」などと書かれたプラカードを掲げました。

社民フォーラム東京からは、羽田圭二代表（世田谷区議会議員）を始めとして多くの仲間が参加し、松尾あきひろさん（写真中央右＝立憲民主党・参議院東京選挙区予定候補）を先頭に国会議員や各自治体議員とともに、街頭から参加者に「憲法改悪をさせない」と訴えました。

主催者を代表して壇上に上がった平和フォーラム共同代表の藤本泰成さんは「9条を『非現実的』という人に『敵基地攻撃能力や核保有で国民の命を守れるのか』と問いたい。国民の生活を圧迫し、平和が壊れるだけだ」と批判しました。立憲民主党からは奥野総一郎・憲法審査会筆頭理事が出席しました。参加者は集会後、「憲法を守り、生かす社会を実現しよう」などとシュプレヒコールを上げながらお台場周辺をデモ行進しました。

惨事便乗の 大軍拡と改憲を許すな！ 官邸前で吉田参院議員が訴え

5月16日、「大軍拡とめろ！官邸前月曜連続行動」が開かれ立憲民主党を代表して吉田忠智参議院議員が参加しました（写真）。この行動は、自民党が防衛費の対GDP比2%への増強や敵基地攻撃能力の維持・強化などを政府に提言し、さらにロシアのウクライナ侵攻を契機に核共有など危険な動きが生まれていることを背景に、総がかり行動実行委員会が呼びかけ初めて開催されたものです。

吉田参議院議員は、復帰50年を迎えた沖縄について、復帰当時58.8%であった米軍関係施設が現在は70.3%になるなど負担軽減どころか多大な負担を強いているとして、日米地位協定の抜本改定めざして取り組む



とともに、ロシアの侵攻を口実にした惨事便乗主義のごとき大軍拡は許されず、憲法をしっかりと守っていくと訴えました。

当日は共同代表の高田健さんが主催者を代表して挨拶。政党・会派からは社民党・服部幹事長、共産党・穀田国会対策委員長、沖縄の風・伊波参議院議員が参加しました。大軍拡と改憲にストップをかけるため参議院選挙では立憲民主党はじめ立憲野党の躍進を勝ち取りましょう。

立憲民主党が憲法パンフレットを発行



●いま立憲民主党は憲法対話集会を全国で開催しています。このほど学習会用にパンフレットが発行されました。

●憲法は権力をしぼるもの。こうした立場で分かりやすく解説されています。ぜひご活用下さい。無料です。

盛岡市で東北ブロック役員会を開催

ブロック結成から1年となる5月12日、岩手県盛岡市で社会民主主義フォーラム東北ブロック役員会（議長＝石田寛秋田県議会議員）が開催され各県から10人の代表が参加しました。

会議では総選挙など振り返りながら、①各県での護憲・原水禁など大衆運動との連携について、②組織活動の課題など立憲民主党内での取り組みについて、③参議院選挙に向けた現状と課題について交流・討論が行われ、参議院選挙に全力を挙げることを確認しました。